

## 第 6 回 (仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン懇談会 会議概要

開催日時	令和 5 年 3 月 10 日(金曜日)14 時 00 分から 15 時 00 分まで
開催場所	新潟市役所 本館 3階 対策室2, 3
出席者	<p><b>【委員】</b>出席 13 名</p> <p>小沢謙一 委員、中村美香 委員、木山光 委員、田中健一 委員、高井俊幸 委員、本間慎一 委員、高橋淑浩 委員、肥田野正明 委員、片山良治 代理、井嶋猛 委員、和田徹 委員、松平信治 委員、萩野正和 委員</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>都心のまちづくり担当理事、都市政策部長、都市政策部</p>
傍聴者	0 名
報道機関	5 社
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事内容</p> <p>(1)これまでの経緯</p> <p>    &lt;事務局より説明&gt;</p> <p>(2)将来ビジョン(最終案)について</p> <p>    &lt;事務局より説明&gt;</p> <p>3. 閉会</p> <p><b>【議事(2)についての主なご意見】</b></p> <p>(小沢委員)住民や関係者に対する説明会は考えているのか。</p> <p>→(事務局)市民への周知としてホームページへの掲載のほかいろいろところで周知を図っていく。</p> <p>→(小沢委員)将来ビジョンの周知もエリアプラットフォームの役割となるのか。</p> <p>→(事務局)そうである。補足として、3月22日(水)に「にいがた 2km×8 区」ビジネス連携促進に係る説明会でも説明していく。</p> <p>(田中委員)各ストリートのイメージとして、イラストとコメントが示されているが、これはあくまでも参考という理解でよいか。あくまでも下段の取り組みイメージとつながりが重要との理解でよいか。</p> <p>→(事務局)その認識でよい。</p> <p><b>【各委員からのお一言】</b></p> <p>(小沢委員)将来ビジョンは完成したが、これまでのまちの成り立ちや既存のものを活かした延長線上のもの。エリアプラットフォームが設立することで、推進する体制は重要である。実現していくためには沿道関係者等の方々の理解も必要であり、今後活動していきたい。</p>

(中村委員)「人中心の新しいまち」が生まれる、歴史を引き継ぎ飛躍させるということで、賑やかで多様なまちの使い方ができることにワクワクしている。市民や企業の協働にも期待している。

(木山委員)我々はオフィスビル等の共有の立場。最新スペックのビルも立ち上がっている。我々は古いビルを新しいビルに建て替えるモチベーションになっている。我々としては、17～22ページのような方針が出されていることは、非常に有益である。将来ビジョン全体としては、こういうものも含めて多様な空間づくりに協力していきたい。

(田中委員)弁天ゲートストリートは、話し始めになっている。将来ビジョンに網羅されていない雪の時期や夜の時間が将来ビジョンには描き切れず、課題が残っている。今後プラットフォームのなかで議論していき、関わるところは関わりながら進めていきたい。

(高井委員)当初、この懇談会は、かたちになるのかと不安もあったが、しっかり進めていただいた。将来ビジョンがあるのは、その先が見据えられるので良いと思う。つながるというテーマも楽しみ。みんなで集まり、つながることでまちづくりを進めていくことが、横串を刺されてやっていくことが、楽しみしかない。

(本間委員)新潟駅前のスクランブル交差点化は当初から言っているが、費用をかけず、新潟駅前を活性化できるということで、実現していただきたい。誰に聞いても、花園と弁天と新潟駅がつながるという意見があり、できることからやっていくという気構えが大事だと思う。もうひとつ、「にいがた2km」のエリアには立ち寄ってみたいというところがない。熊本に行ってみると、若者があちこちから来て、賑わっている。また、アンテナショップの県内版みたいなものをつくって、地場産業の良いものを目で見えるようにすることが必要だと思う。美術館なども、良いものでありながらパツとしない。PRをして、通りからインパクトを与えて立ち寄らせることが必要だと思う。オール新潟でいかないと他の県に勝てない。みんなでアイデアを出して、力を合わせていきましょう。

(高橋委員)各エリアの方向性や課題を共有することで問題解決の糸口となることを期待している。昨日は3つのモールを歩いて、今日はバスで会場まで来た。「ウォークブル」という言葉がある。昨日は通りを歩いてみると、ゴミが散らかっていて、コケのようなものがあり、流作場五差路の歩道橋も手入れが必要な状況であった。もう一度、来たくなると思わせることが必要である。それから、昼だけでなく、夜もあるし、冬もあり、夏もある。それらも今後議論が必要である。

(肥田野委員)この懇談会で、建設的で前向きな話ができ。情報の一元化ができたことも大きい。イルミネーションは新潟駅南側の取り組みではなく、新潟駅南北一体的な取り組みであるべきと考えている。クリスマスマーケットを万代シティでやられているが、全国的にもトレンドになってきており、広場等を活用して面展開できたらと考えている。信濃川沿いに、高さ制限もあったが、水辺とセットで新潟の魅力がある。グランドレベルの一体化が必要である。

(片山代理)活発な議論を聞き、とりまとめた事務局に敬意を表したい。これから何をやるか、2核の拠点の1つに位置付けていただいているため、将来ビジョンに記載されたことはやっていかなければならないと考えている。

(井嶋委員)将来ビジョンができ、共有できる段階となった。ここから先はできるものからやっていくというスタンスが大事。トライアンドエラーを繰り返していくことが求められる。それを許容できる雰囲気づくりが大切である。

(和田委員)当初から懇談会で、バスの走行空間の意見はお伝えしたが、通りを歩くということにどのように関わればよいかを考えながら関わってきた。将来ビジョンの実現に向けて、公共交通機関が果たすべき役割があると思うので、皆さんとともに取り組みを進めていきたい。新潟駅南北がグランドレベルでつながることで、新潟駅南北の交流が生まれることを期待している。加えて、20年後に新潟駅・万代と古町がつながるような取り組みも考えていきたい。

(松平委員)今回の将来ビジョンのキーワードは人中心。新潟駅の整備やビルの建て替え、万代島ルート線の整備など、人中心のまちづくりが進められている。この将来ビジョンに沿って、みんなでまちづくりを進めていくことが必要であり、ここからがスタートである。

(萩野委員)今回、特徴的な都市構成を鑑みながら将来ビジョンを策定したのは当該地区の将来ビジョンの特徴となり、良かった。全国的にも将来ビジョンを策定し、エリアプラットフォームを設立するという例は多い。アフターコロナの生活様式や社会・経済が大きく変わった。これからは新たなフェイズ。これまでと違い、簡単ではない。次は臨機応変に対応する体制や、仕組みやハード面、環境、弾力的な体制が大切である。エリアプラットフォームを設立する今回の流れは良かったと思う。

以上